

川崎病の診断で入院加療を受けられた患者さんにご家族のみなさんへ「お知らせ」と「お願い」]

このたび当院小児科では、川崎病について下記の2つの臨床研究を実施いたします。
みなさまのご理解とご協力をお願いいたします

研究1

研究課題名

川崎病における免疫グロブリン療法施行後のリバウンド熱

研究の対象

2010年1月から2013年12月までに、川崎病の診断で入院加療させていただいた患者さんのうち、初回免疫グロブリン療法が有効と判断された147名の患者さん

研究の意義・目的

初回免疫グロブリン療法施行後にときにみとめる再発熱（リバウンド熱）の疫学を調査し、その臨床的意義を明らかにします。

研究方法

1. この研究は対象患者さんの個人情報はありません。
2. この研究は過去の臨床経過や検査データについての記録をカルテから抽出する研究ですので、対象患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
3. この研究で過去に採取させていただいた臨床検体（血液・尿など）そのものをあつかうこともありません。
4. 研究成果については、関連学術雑誌での公表を予定していますが、その際も対象患者さんの個人情報は含まれません。

研究期間

2015年4月当院倫理委員会承認後～2016年3月31日を予定

連絡先

この研究に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

当院こどもセンター小児科部長

佐藤厚夫

電話番号：045-474-8111（代表）

研究 2

研究課題名

入院翌日以降に診断された川崎病症例の臨床的特徴

研究の対象

2012年4月から2015年3月までに、川崎病の診断で入院加療させていただいた患者さんのうち、入院日ではなく入院翌日以降に診断され、治療が開始された患者さん

研究の意義・目的

上記症例の入院から診断までの臨床経過を客観的に評価し、その特徴を明らかにします。

研究方法

1. この研究は対象患者さんの個人情報はありません。
2. この研究は過去の臨床経過や検査データについての記録をカルテから抽出する研究ですので、対象患者さんに新たなご負担をおかけすることはありません。
3. この研究で過去に採取させていただいた臨床検体（血液・尿など）そのものをあつかうこともありません。
4. 研究成果については、関連学会や学術雑誌での公表を予定していますが、その際も対象患者さんの個人情報は含まれません。

研究期間

2015年4月当院倫理委員会承認後～2016年3月31日を予定

連絡先

この研究に関するお問い合わせは、下記までご連絡下さい。

当院こどもセンター小児科部長

佐藤厚夫

電話番号：045-474-8111（代表）

本公告は『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 26 年 12 月 22 日 文部科学省・厚生労働省）に
そって公開いたします。